



日本共産党松浦市議会議員

安江ゆう子の市議会だより

日本共産党の安江ゆう子市議は、2012年6月市議会で原発事故に関する安定ヨウ素剤の配備問題、玄海原発の再稼働問題、通学路の安全対策問題などについて一般質問をしました。

安定ヨウ素剤は事前に家庭や保育所・学校などにも配備を

「万が一」原子力災害が発生したとき、発生時に放射性ヨウ素が放出されます。「放射性ヨウ素は内部被曝により人体に悪影響を与えるおそれ

があり、体内に取り込むと甲状腺がんを発生させる可能性があるとされています。安定ヨウ素剤を服用することにより、甲状腺への放射性被曝が

安江市議 甲状腺の内部被曝を防ぐために安定ヨウ素剤があります。この服用はどのようなタイミングが有効とされていますか。

市長 福島ではその対応が遅れたと言われており、関係機関は放射性ヨウ素の拡散状況を的確に判断しながら、住民が適切なタイミングで服用できるように取り組む必要がある。

安江市議 実効ある対応のため、安定ヨウ素剤を各家庭、各事業所、病院、保育所、幼稚園、各学校に配備すべきと考えますが、どうですか

阻止され、低減されるという効果がある」という友広市長。

市長 福島ではその対応が遅れたと言われており、関係機関は放射性ヨウ素の拡散状況を的確に判断しながら、住民が適切なタイミングで服用できるように取り組む必要がある。

市長 安定ヨウ素剤が甲状腺がんを予防するという点については、県民に十分な周知がなされていないことが、大きな課題であり、問題だっただけだと思っている。県民、国民の健康を守っていく体制を整備していく必要があると思っている。

市長 今、国においても、安江議員の指摘の各家庭にとり見守って適切な対応ができるようにしていきたい。

安江ゆう子市議は、安定ヨウ素剤の服用や配備について質問しました。

安江市議 要するにオフサイトセンター（緊急事態応急対策拠点施設）から県に、それからドクターが指示を出していくというのですが、放射性ヨウ素を吸入する前に安定ヨウ素剤を服用しないと効果がないとされています。

安江 安定ヨウ素剤はどのような形で服用できるようにするのか。服用しなくてはならない人数をどういうふうに把握されているか。

総務課長 原則。被曝医療マニュアルに基づいて、現行は救護所というようなことになっていて。鷹島の診療所には32000錠の配備。対象者は鷹島で655名、福島956人、御厨1632人、星鹿661人、志佐3283人、調川875人、今福974人、合計9036人。



松浦市原子力防災避難行動計画地区別説明会（7月24日星鹿で）



安江ゆう子市議は、安定ヨウ素剤の服用や配備について質問しました。



演説会へのご参加、ありがとうございました

7月22日の日本共産党演説会にたくさんの方々のご参加をいただきまして、ありがとうございました。

みなさんのご期待に応えるよう、総選挙での躍進・勝利をめざして頑張っています。